



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 東 福

上場会社名 東福製粉株式会社
 コード番号 2006 URL <http://www.tofuku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野上 英一
 (氏名) 中路 節

TEL 092-781-1661

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	914	1.0	28	—	30	—	22	—
24年9月期第1四半期	905	16.1	△12	—	△14	—	△14	—

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 50百万円 (—%) 24年9月期第1四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	2.24	—
24年9月期第1四半期	△1.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	3,769	1,694	44.9	170.11
24年9月期	3,787	1,643	43.4	165.01

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 1,694百万円 24年9月期 1,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	—	—	0.00	0.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,890	9.6	27	—	25	—	15	—	1.50
通期	3,640	8.4	52	—	46	—	27	—	2.70

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	10,000,000 株	24年9月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	40,383 株	24年9月期	40,383 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	9,959,617 株	24年9月期1Q	9,960,233 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。平成25年2月7日付にて、四半期財務諸表に対する四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年10月1日～平成24年12月31日)における我が国経済は、世界景気の減速等を背景として依然、弱い動きとなっているものの、復興需要が下支えするなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待されております。ただし、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、雇用・所得環境の先行きやデフレの影響等が懸念され、経済情勢は先行き不透明な状況が続いております。

製粉業界におきましては、世界的な天候不順等の影響により海外穀物相場の動きは不安定であり、政府売渡小麦価格も本年10月に約3%の引き上げが行われました。また、デフレ等の影響による低価格志向を背景とした販売競争も厳しさを増しております。

このような中、当社グループは、既存取引先の拡充等による販売力強化や製造効率の向上及びコスト削減等に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高で9億1千4百万円と対前年同期比1.0%の増収となりました。損益面につきましては、営業利益2千8百万円(前年同期営業損失1千2百万円)、経常利益3千万円(同経常損失1千4百万円)、四半期純利益2千2百万円(同四半期純損失1千4百万円)とそれぞれ増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

<製粉事業>

製粉事業につきましては、主力の小麦粉は、本年4月に実施された政府売渡小麦価格の改定に伴い7月に大幅な製品価格の引き下げを行いました。上記のとおり10月に小麦価格の引き上げが行われたため、12月21日以降は製品価格の引き上げを行っております。かかる状況下において販売力の強化に努めた結果、販売数量で対前年同期比11.0%の増加となりましたが、価格改定の影響で販売単価が下がったため、売上高は対前年同期比1百万円減の6億2千6百万円(同0.2%減)となりました。

副製品のふすまは、生産数量の増加に伴う販売数量の増加及び好調な市況を背景とした販売単価の上昇により、売上高で6千万円と対前年同期比1千1百万円(同23.1%増)の増収となりました。

ミックス粉は、小麦粉同様販売数量は増加したものの販売単価の引下げ等により、売上高は前年同期並みの4千4百万円(同0.9%減)となりました。

商品は、玄米販売は低調だったものの、子会社における販売が好調に推移したため、売上高は前年同期並みの1億7千5百万円(同0.4%増)となりました。

不動産収入につきましては、本年3月に本社敷地内にある賃貸物件のテナントとの契約が終了しましたので、売上高は対前年同期比6百万円と大幅に減少し0百万円となりました。本物件につきましては、外部に委託しておりました製品の保管及び商品発送業務等について活用を図りコストの軽減に努めておりますが、さらに一層の積極的な活用を図ってまいります。

以上の結果、製粉事業の売上高は9億6百万円(同0.5%増)、営業利益は7千4百万円(同21.5%増)となりました。

<不動産賃貸事業>

不動産賃貸事業につきましては、テナントの入れ替えに伴い、昨年12月から新テナントが入居したため、売上高8百万円(同5百万円の増)、営業利益3百万円(同営業損失1千3百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末(平成24年9月30日)に比べ1千8百万円減少し、37億6千9百万円となりました。この主な要因は、売掛金と製品及び商品が増加した一方で、原材料及び現金預金の減少がそれらを上回ったことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6千8百万円減少し、20億7千5百万円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5千万円増加し、16億9千4百万円となりました。この主な要因は、繰越利益剰余金及び株式等評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、原料小麦価格の動向や電力料金の値上げ問題さらには低価格志向を背景とした販売競争の激化など当社を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、一層の販売力の強化や製造効率の向上、さらには徹底したコスト削減を推し進めておりますので、平成24年11月13日に公表いたしました連結業績予想のとおり変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	298,216	267,139
受取手形及び売掛金	524,980	610,068
商品及び製品	186,826	227,906
原材料及び貯蔵品	500,422	389,146
その他	34,692	28,441
貸倒引当金	△2,826	△3,140
流動資産合計	1,542,311	1,519,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	707,796	698,101
機械装置及び運搬具(純額)	522,865	508,065
その他(純額)	148,834	147,304
有形固定資産合計	1,379,497	1,353,471
無形固定資産	20,212	19,184
投資その他の資産		
投資有価証券	557,580	593,653
その他	420,635	415,428
貸倒引当金	△132,471	△131,602
投資その他の資産合計	845,745	877,479
固定資産合計	2,245,455	2,250,136
資産合計	3,787,766	3,769,698
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,867	208,166
短期借入金	1,012,000	1,020,000
1年内返済予定の長期借入金	224,538	213,812
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	3,095	9,147
賞与引当金	20,711	6,292
その他	120,127	130,142
流動負債合計	1,638,339	1,627,560
固定負債		
長期借入金	358,302	311,700
退職給付引当金	835	835
その他	146,874	135,331
固定負債合計	506,011	447,866
負債合計	2,144,351	2,075,427

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,876	67,876
利益剰余金	1,116,921	1,139,250
自己株式	△3,517	△3,517
株主資本合計	1,681,280	1,703,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37,866	△9,338
その他の包括利益累計額合計	△37,866	△9,338
純資産合計	1,643,414	1,694,271
負債純資産合計	3,787,766	3,769,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	905,121	914,505
売上原価	768,390	751,560
売上総利益	136,730	162,945
販売費及び一般管理費	149,515	134,407
営業利益又は営業損失(△)	△12,785	28,537
営業外収益		
受取利息	43	7
受取配当金	2,125	2,233
持分法による投資利益	4,924	6,968
その他	91	1,689
営業外収益合計	7,185	10,898
営業外費用		
支払利息	8,581	8,391
その他	231	180
営業外費用合計	8,812	8,571
経常利益又は経常損失(△)	△14,412	30,864
特別損失		
固定資産除却損	4,720	—
特別損失合計	4,720	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△19,132	30,864
法人税、住民税及び事業税	1,235	8,249
法人税等調整額	△5,417	286
法人税等合計	△4,181	8,535
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,950	22,328
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,950	22,328

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△14,950	22,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,488	27,971
持分法適用会社に対する持分相当額	62	556
その他の包括利益合計	△13,426	28,527
四半期包括利益	△28,376	50,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,376	50,856

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメントの状況

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	902,369	2,752	905,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	902,369	2,752	905,121
セグメント利益又は損失(△)	61,041	△13,466	47,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	47,574
全社費用(注)	△60,360
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△12,785

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)
	製粉事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	906,505	8,000	914,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	906,505	8,000	914,505
セグメント利益	74,192	3,256	77,449

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	77,449
全社費用（注）	△48,911
四半期連結損益計算書の営業利益	28,537

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。